

カワイコンサート | No.2376 |

イ・ヒョ

ピアノ・リサイタル

Hyo Lee Piano Recital

使用ピアノ

カワイフルコンサートピアノSK-EX *SHIGERU KAWAI*

MESSAGE

日本の聴衆の皆様

この度、日本という地でこのプログラムを演奏できることに、大きな喜びと高揚感を感じています。

日本の聴衆の皆様が向けてくださる、深く研ぎ澄まされた眼差し。その中で音を紡げることは、演奏家としてこれ以上ないほど幸せで、報われる瞬間です。皆様とともにこの音楽の時間を分かち合えることを、私は心から大切に思っています。

本日のプログラムには、芸術家としての私を形作ってきた多様な情景や感覚が映し出されています。それは一つの物語というよりも、皆様の前に提示される「瞬間」の連続です。ある時は親密に、ある時は壮大に…どうか自由な心で、その一つひとつの場面を旅してみてください。

最後の音が消えた後も、この体験が皆様の心の中に長く留まり続けることを願っています。

—— イ・ヒョ

日時
2026 **10/28** (水)

開場 17:45 開演 18:30

会場 **アクトシティ浜松 中ホール**
静岡県浜松市中央区板屋町111-1料金
全席自由

一般券	3,000円(税込)
会員・学生券	2,500円(税込)
ペア券	4,000円(税込)

PROGRAM

グリーゲ : 組曲「ホルベアの時代より」Op.40

チャイコフスキー=プレトニョフ : バレエ音楽「くるみ割り人形」Op.71

ショパン : 「ドン・ジョヴァンニ」の「お手をどうぞ」の
主題による変奏曲 変ロ長調 Op.2

リスト : バガニーニによる大練習曲 S.141

※曲目・曲順は変更になる場合がございます。
※未就学児の方のご入場はご遠慮ください。チケット
前売所カワイ浜松 TEL.053-455-0638
カワイ音楽教室浜松センター TEL.053-454-6052

アクトシティチケットセンター TEL.053-451-1111

※QRコードからチケットの
お申し込みが可能です。

お問合せ

カワイ浜松
TEL.053-455-0638

主催 / 株式会社 河合楽器製作所

企画・制作 / カワイ音楽振興会

後援 / 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)、浜松市

浜松市文化振興財団、中日新聞東海本社、静岡新聞、静岡放送



PROFILE

ピアニスト
イ・ヒョ

Hyo Lee

2007年ソウル生まれ。
5歳よりピアノとヴァイオリンで音楽教育を受け始める。その後、モスクワ音楽院附属中央音楽学校で学び、その類稀な才能を早くから開花させた。

これまでに数多くの国際コンクールで目覚ましい成績を収めており、アスタナ・ピアノ・パッション国際ピアノコンクール、ルービンシュタイン国際ピアノコンクール、アニマート・ショパンコンクールなどで上位入賞。2025年3月には、伝統あるパリのロン＝ティポー国際音楽コンクールで第3位を受賞。同年、世界で最も権威あるコンクールの一つ、第19回ショパン国際ピアノコンクールにおいてセミファイナリストに選出され、大きな注目を集めた。ソリストとして、ワルシャワ・フィルハーモニーホール、ソウル・アーツ・センター、パリのサル・コルトー、バルティック・フィルハーモニーホール、モスクワ音楽院大ホール、モスクワ・フィルハーモニーホールなど、世界有数の舞台で客演。

ソロ活動に加え室内楽にも精力的に取り組んでおり、実兄イ・ヒョクとのピアノ・デュオ「Lee Brothers(リー・ブラザーズ)」としても活動。ピアソラ、ミヨー、ガーシュウィン、サン＝サーンス、カプースチンなどの作品を取り入れたレパートリーは、聴衆や批評家から高く評価されている。また、ベートーヴェンの交響曲第9番初演200周年を記念し、リスト編による2台ピアノ版の同曲をメインに据えたプログラムでポーランドツアーを行い、絶賛を博した。

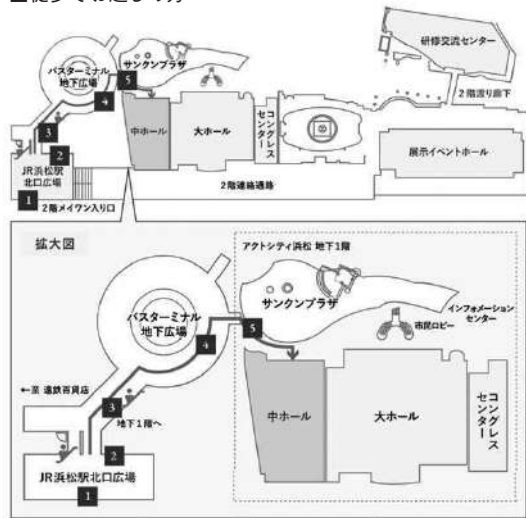
2026年は、ラインガウ音楽祭、ワルシャワ・ベートーヴェン音楽祭への出演や、フォンドアション・ルイ・ヴィトン、ソウル・アーツ・センターのニューイヤーコンサートでの演奏が予定されている。

ピアノの枠に留まらず、現在もヴァイオリンへの情熱を持ち続けるほか、チェスでは国際レーティングを保持するなど、その幅広い知性と芸術的関心は彼の音楽に深い洞察を与えている。

会場アクセス



■徒歩でお越しの方



KAWAI

心の彩までも、意のままに。

ピアニストの高次元な要求にも、的確に応える Shigeru Kawai グランドピアノ。
卓越した演奏性能、そして高度な表現を思いのままに。
Shigeru Kawai は、つねに深化を続けます。
心で感じた音楽を意のままに奏でる歓びを、あなたと分かち合うために。

